

2019年5月

新年度からの10連休でしたが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。保護者会も新しい保護者を迎え、新年度の役員体制が決まった園もあると思います。

保護者会活動でお悩みのときは、ぜひ市保連にご相談ください。いろんな園の保護者会の経験交流は市保連の役割の一つです。役員を務める負担感も少しは軽くなるかもしれません。

保育制度改善のための活動も一緒に取り組んでいます。今年は保護者向けの学習会活動の交流も進めたいと考えています。

## 2019 年度市保連総会のご案内

日時 ; 6月2日(日)10:00~12:00

会場 ; 洛西保育園(京都市中京区西ノ京小堀池町16)

地図は「洛西保育園」で検索できます。お車でお越しの際は付近のパーキングをご利用下さい。

総会では、①保育の無償化についてのミニ学習会、②グループに分かれての感想交流や各園の情報交換、③市保連の活動報告と活動計画、④新役員の承認を行うことを予定しています。

すでに往復はがきにてご案内をしておりますが、各園の代表者の皆さまのご出席よろしくお願ひいたします(※代表者は各園で決めていただければ会長以外で構いません)。また、加盟園からの複数での参加、未加盟園の保護者会や保護者個人の参加(オブザーバー参加)も歓迎です。

総会後には懇親会も予定しています(参加費:大人:1000円、3歳~小学生:500円。メールにて申込み下さい)。

保育を希望される方は、5月20日までに [info@shihoren.net](mailto:info@shihoren.net) へ人数、年齢をご連絡ください。

## 京都市保育予算対策委員会のまとめ

保育園連盟、保育士会、市保連で構成されている京都市保育予算対策委員会(三者予対)の2018年度の活動は以下の通りでした。署名・カンパのご協力ありがとうございました。

代表者会議 7月11日、4月23日 要望書提出並びに懇談会 12月3日

国に対する署名 59,806筆 京都市長に対する署名 61,584筆

カンパ協力金 5,850,771円

## 京都市宛署名 26,106筆を提出!

2018年秋から取り組んだ「京都市の保育・学童保育制度の充実を求める請願署名」を1月23日に京都市議会に提出しました。26,106筆の署名が集まりました。

ご協力ありがとうございました。

## 京都市との懇談会を開催しました

2019年3月27日午後6時45分から中京区「こどもみらい館」にて、保護者と京都市との懇談会を開催しました。

15園（加盟園10園、未加盟園5園）から28名の保護者が参加しました。京都市からは、入所申込を担当する利用調整担当、民間施設担当、公営施設担当など5名の職員（課長、係長）が参加しました。

市保連会長からのあいさつの後、京都市から保育政策の現状や直近の変更点などについて、市保連から2月に提出した「京都市の保育施策の拡充を求める要望書」（各園に送付済み。市保連ホームページにも公開しています）も踏まえて報告がありました。

保護者からの切実な意見が多く出ました。以下概要を記載します。

### （京都市からの報告）

予算としては待機児童と無償化への対応に重点を置き、前年63億円増の予算となっている。

待機児童対策については、保育ニーズ調査を実施して「子ども子育て支援事業計画」を作成し、5年間で4800人分、直近2年では667人分の定員拡充をしてきた。4月だけではなく、年度途中入所も念頭に置いた待機児童対策としている。

入所申込の利用調整ポイントについては、直近の改定として、就学のポイントを上げて就労との差を無くしたり、育児期間中の時短勤務の場合も時短前の時間でポイントをつける変更を行っている。

情報開示は各園の上乗せ・実費徴収については、京都市のホームページで公開を進めている。

保育料については、27億円の公費投入により国基準の69%に軽減している。無償化により幼児の副食費が実費徴収されるが保育料による負担軽減との逆転が生じないようにしたいと考えている。

市営保育所の民営化については、公にしか果たせない役割を踏まえながら、コストや公民の役割分担を考えて進めている。

配置基準については、プール制などの独自の上乘

保護者のみなさん！ 京都市の保育について  
言いたいこと 訊きたいことは ありませんか？

今年も開催！

## 保護者と京都市との懇談会

私たちは京都市内の保育園の保護者会で作る「京都市保育園保護者会協議会」略して「市保連」です。  
私たちが毎年開催している保護者と京都市の保育を担当する部署「子ども若者はぐくみ局幼保総務課」の職員さんとの懇談会を、今年も開催することになりました。  
入所の不安、待機児童問題、保育料などの経済的負担、保育の内容や保育の質のこと、保育士の働き方や待遇のことなど、京都市の保育について改善してほしいところや疑問や心配もあると思います。市保連としても、毎年各園から出された要望・意見をまとめて京都市に提出しています。  
懇談会では、京都市の保育担当の方から直接お話を聞け、京都市の保育の状況についても共有しながら、今後の保育行政に活かしてもらえるように、保護者の生の「声」を届ける機会にしたいと考えています。  
ぜひご参加ください。



日時 2019年3月27日(水)18:45～

会場 こどもみらい館 第2研修室

対象 保護者ならどなたでも 保育者もあります。  
\*誰でも参加できます。  
\*随時お申し込みください。  
\*保護者入所前の保護者の方も参加できる保護者会・保護者の方は、下記のFAQ/Mailにて要領・様見をダウンロード。  
\*保育が必要なお子様は、eメール (info@shinoren.net)にて、3月22日(金)までに連絡下さい。  
\*その際、お子さんの年齢を必ずご連絡ください。



◆会場アクセス  
地下鉄/丸太町駅から徒歩3分(③番出口)  
市バス/丸太町下車徒歩3分  
駐車場あり(会館前・無料)  
駐車場あり(会館地下・有料)

主催 京都市保育園保護者会協議会(市保連)  
協賛先 京都市(上京区)丸太町下5丁目5-9  
京都社会福祉協議会内 FAX 075-406-8000  
市保連 (http://www.shinoren.net)

せを行っており、さらなる充実には国からの財源が必要。職員の処遇については全国平均を上回る水準を維持している。

大阪府の北部地震などがあり、災害時の対応方針を策定している。

### （意見交換）

#### ①待機児童・入所関連

（保護者）小規模の保護者で、入所申込の際に14カ所書いて応募して、14番目の保育園に決まった。入れることが決まったものの、子どもは環境の変化によるストレスを受けている。友達と離れ離れになることが悲しくて、友達の絵を塗りつぶすこともあった。親も子もすごい精神的な負担になる。小規模への優先的な対応はないのか。

（京都市）3歳の移行時は年々厳しくなっている。小規模の施設が増えており、移行児の数も増えている。ポイントの割増は、連携施設がある場合に限り第一希望にすると10点の加点がある。

3歳児移行児の550人弱のうち210人が幼稚園などに進み、保育の利用をされなかった。

保育園連盟を通じて各園に小規模施設の連携施設となるよう依頼しており、プール制のポイント加算も行っている。

(保護者) 幼稚園に行った保護者が保育園を希望していなかったとは限らない。ポイントが低く、初めから無理だと考えて申し込まない人もいる。小規模を設置する際に3歳児以降の枠を確保するようにしてほしい。

(保護者) 小規模に決まったが2年後にまた保活しなければならない。しんどい。ポイントについては通勤の点数の改善と早生まれ枠を作って欲しい。

## ②経済的負担

(保護者) 保育料が市民税額で定まっているが、我が家は月に10万円以上は必要な経費がある。働いても給与の半分は保育料になっている。

(保護者) 小規模保育に下の子を預けており、上の子は隣接の認可外に預けている。この場合、2人目が同時入所の減免を受けられない。働いても保育料に消えていく状況になっている。

(保護者) 給食費の負担が心配。自治体で給食費を負担するところもある。

(京都市) 保育料について個別の事情が反映できない状況。障害のある身内のある方については住民税の控除の制度もあり、住民税控除により一定の軽減はされる。同時入所の減免は、認可施設の保育料を減免する制度なので認可外は対象外になっている。無償化と給食費の実費負担については3～5歳の副食費については所得に応じて免除する。京都市では逆転現象が起きないようにしているが、財政事情から一定の負担はお願いせざるを得ない。

## ③市営保育所

(保護者) 市営楽只保育所に移転のお知らせがあった。崇仁保育所は移転の話だけだったのに急に民営化されることになった。楽只もそうならないか

不安。船岡分園と楽只で定員200人ほどになる。乳児と幼児がわかれていることでのびのびして選んだ。移転でそれができなくなったり、子どものストレスにならないか不安。

(保護者) 民間の認可園の新設が大変になっており、市営を無くして大丈夫か。

(保護者) 公営保育所の役割はどのようなものか、公民の役割分担はどのようなものか、教えて欲しい。無償化では公立は市町村負担が重いということとの関連でも教えて欲しい。

(京都市) 楽只については公営のまま移転する。船岡分園を含めた在園児数を踏まえて定員を設定する。敷地面積は減る予定。

将来さらに市営を民営化するかどうかについては、そのときそのときの判断。現時点で公表しているものについては進めていく。

子どもや保護者への影響などの検証については、三者協議やアンケートを行っている。公立保育所の役割、障害児保育などについては、市営の役割を民間園も担えるように広げていくことが必要だと考えている。全ての市営保育所が無くなってよいとは考えていない。

## ④保育の質、その他

(保護者) 保育士配置基準が2, 3歳児以上のところで数が足りない。乳児の間は密なコミュニケーションが取れていたが、幼児になると連絡帳なども雑になる、保護者と保育者とのトラブルの原因にもなる。市から国にも改善をお願いして欲しい。

(保護者) 就労証明書を年に4回出さなければならない保護者がいた。手間を減らして欲しい。京都府の補助金カットにより園で200万円の収入が減った。バザー収益を全額園に寄付することにした。

(保護者) 1歳児の配置基準は4対1になっているけど朝は手薄になっている。朝は10人くらいを1人で見ているときもある。顔は傷だらけになっている。先生や子どもの責任ではなく、配置基準を引き上げてこなかったことが原因だと思ってい

る。無償化になると長時間保育が増えるので、体制を整えてほしい。

(保護者) 給与水準が下がっている。プール制の解体をどうみるか。災害対応についてどうするか。

(保護者) 定員割れしている園もある。全体像を把握して、定員状況の把握、中長期的な計画が必要ではないか。

(保護者) 親の負担を減らすということだけではなく、子どもの成長を直接支えるための保育園の先生たちの負担を減らす必要があるし、ベテランの先生は親としても大切に思っており、ベテランの先生を大事にしてほしい。

(京都市) 保育現場の疲弊を招かないように京都市も考えている。3歳児以降が雑になっていないかということだが、1歳児、1歳6ヶ月未満は国より手厚い配置になっている。限られた財源の中で49億円を保育士の給与のために確保をしている。

災害時の対応は指針は示しているのだからそれに沿って各園に判断してもらうことになる。

定員については次は2020年度からの5カ年計画を立てる。



(懇談会の様子)

## 「保育所給食費の無償化を求める緊急要望書」提出

ご協力ありがとうございました。

1月に取り組んだ下記緊急要望書には、市保連未加盟園を含め38ヶ園の保護者会・父母の会より賛同をいただきました。3月1日に京都市に提出しました。

京都市長 門川大作 殿

保育所給食費の無償化を求める緊急要望書

国は保育料の無償化(幼児のみ・10月実施)に当たり、これまで給食費の一部(主食費)のみを保護者負担としてきた取扱いを変更し、全額を保護者負担とする方針を出しました。

国は保護者が負担する給食費の月額を7500円と試算していますが、これは世帯によっては無償化される保育料よりも高額になります。そもそも保育料の無償化は幼児だけ、消費税の負担はずっと続いていく中で、給食費の負担増はけっして軽いものではなく、今後は滞納も増えるかもしれません。また、各園が自由に給食費を決められるようになると園ごとに「給食格差」が生まれます。

どんな家庭に生まれてもどの保育園に入っても、保育園の給食は平等に提供してほしいと思います。給食費滞納の心配を無くすことで、保育園も安定して給食を提供することができます。

保育を通じた食育を推進する京都市は、市の独自の予算で給食費の無償化を実現してください。少なくとも現状の給食費負担より負担増となることがないようにしてください。お願いいたします。

市保連 Facebook ページ始めました。 [検索](#) [市保連 facebook](#)